



ひと まち 自然がきらめく 共生の郷 佐用

みなさんと議会を結ぶ情報誌

議会だより

第38号

平成27年11月5日発行

さ ょ う



笑顔いっぱい

もくじ

- ・第68回定例会
平成26年度各会計決算を認定 2~10
- ・一般質問 8人の議員が斬りこむ 11~19
- ・**合併後初めての子ども議会を開催**
11人の中学生議員が町政を質す 20・21
- ・第3回議会報告会を開催します 裏表紙

確かな歩み

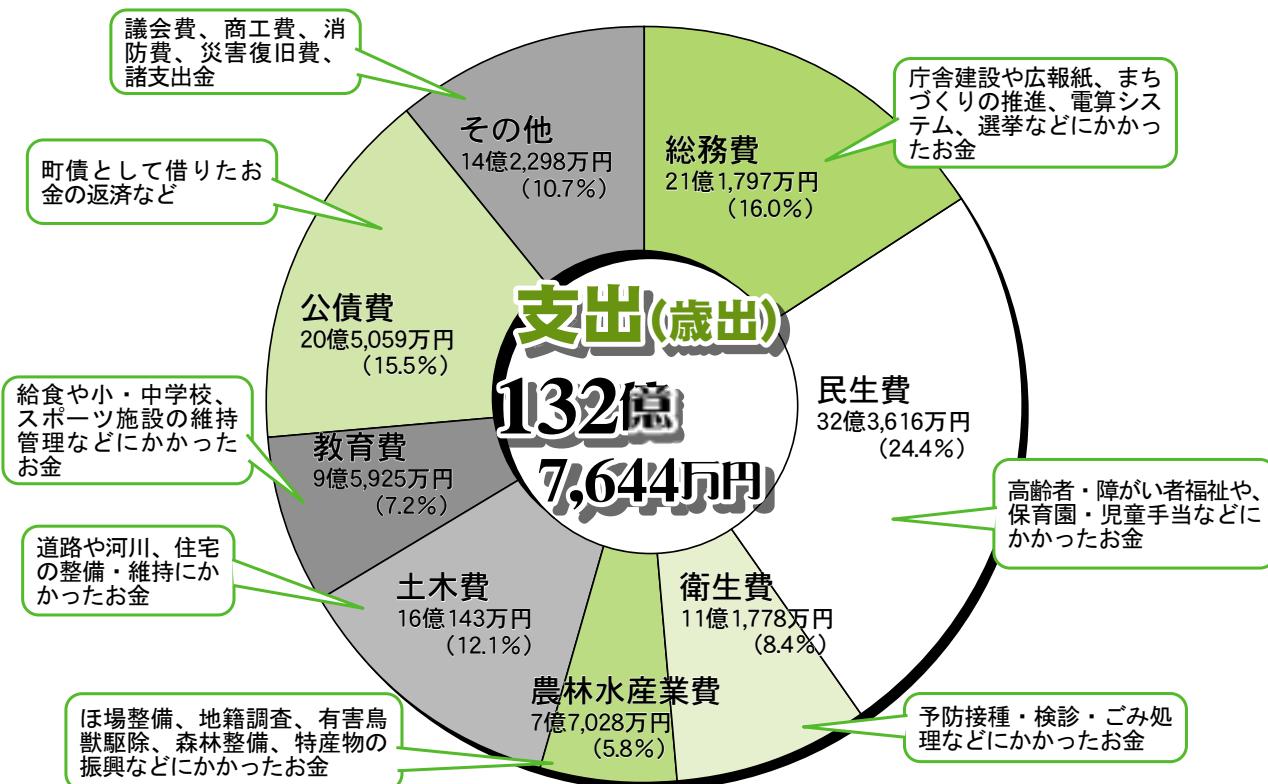


9月定例会

9月定例会は、9月7日から30日までの24日間の会期で開かれました。町長から提案のあった条例改正や平成27年度補正予算など15議案を原案のとおり可決しました。個人情報の保護に関する条例改正や平成27年度補正予算など15議案を原案のとおり可決しました。

また、平成26年度一般会計および14特別会計ならびに水道事業会計の決算については、全議員で構成する決算特別委員会で慎重に審査し、全ての会計を認定しました。

継続審査の「平和安全法制整備法案、国際平和支援法案の廃案を求める意見書（案）」は否決となりました。また、教育長、公平委員会委員、人権擁護委員案件は全て同意・適任と判断しました。一般質問は、8人の議員が登壇し活発な議論を開きました。



自主財源と依存財源？

自主財源 町民のみなさんに納めていただく町税、公共事業地元分担金、住宅使用料、公共施設使用料、住民票発行手数料など、佐用町が自動的に収入することができるお金のことです。

依存財源 国や県から一定の基準でもらう交付金や譲与税、道路や施設を作るときに国からもらう国庫支出金や県支出金、金融機関などから借りる町債などがこれにあたります。

●決算の状況 (歳出)

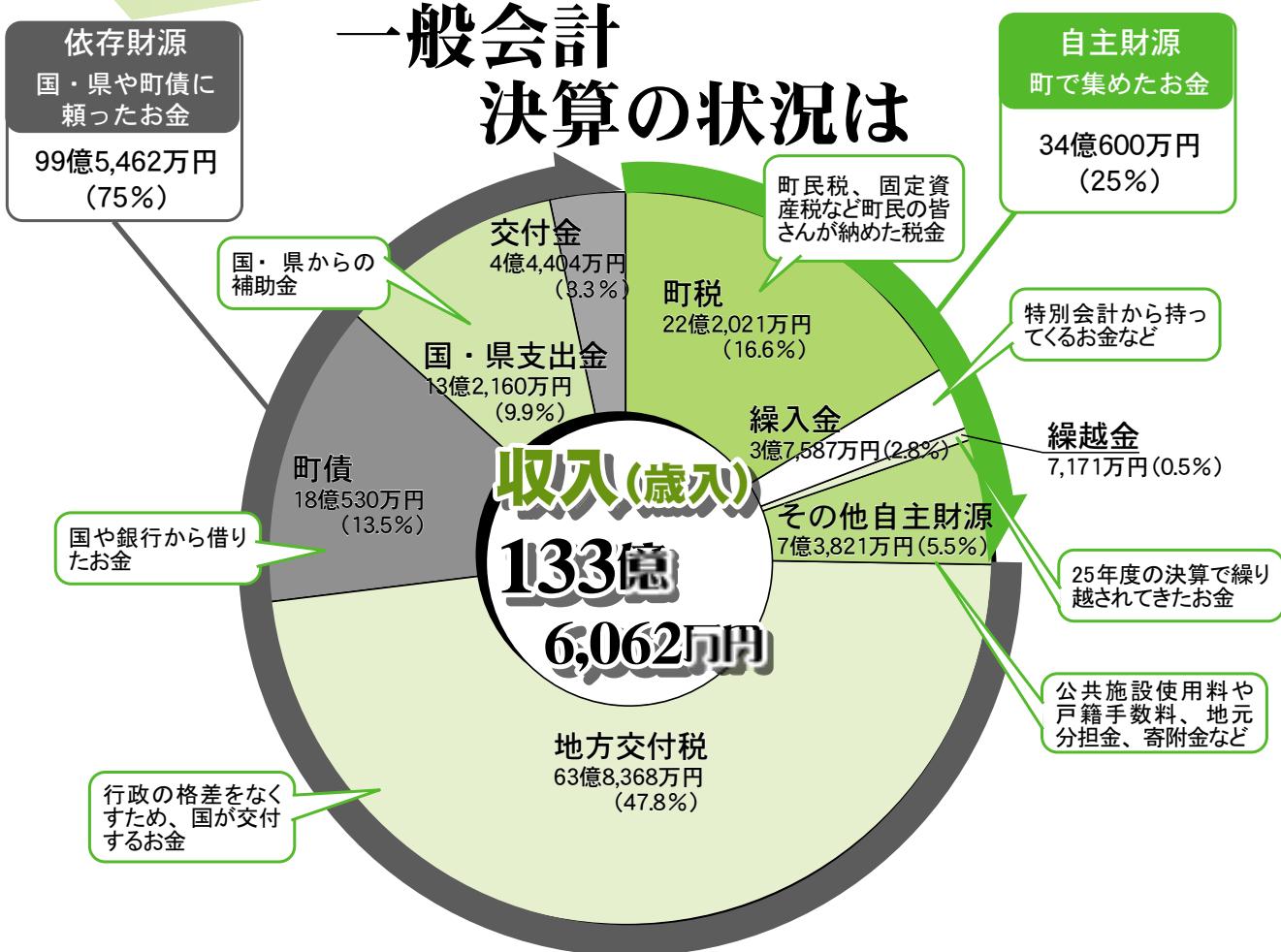
会計名	金額	対前年比
一般会計	13,276,444	△3.7
メガソーラー事業	5,454	皆増
国民健康保険	2,268,315	0.6
後期高齢者医療	291,689	7.2
介護保険	2,180,229	3.6
介護保険(サービス事業勘定)	10,500	4.8
朝霧園	126,961	5.5
簡易水道事業	798,836	18.8
特定環境保全公共下水道事業	1,076,293	27.7
生活排水処理事業	417,561	0.3
西はりま天文台公園	113,024	△4.4
笹ヶ丘荘	123,900	9.1
歯科保健	23,570	△0.4
宅地造成事業	774	△89.4
石井財産区	11	83.3
農業共済事業	89,353	△11.0
水道事業会計	227,366	22.5

平成26年度 一般会計歳出決算額 決算 132億7644万円 まちづくり!!

(前年度とほぼ同額で推移)

安定財政、未来へつなげ

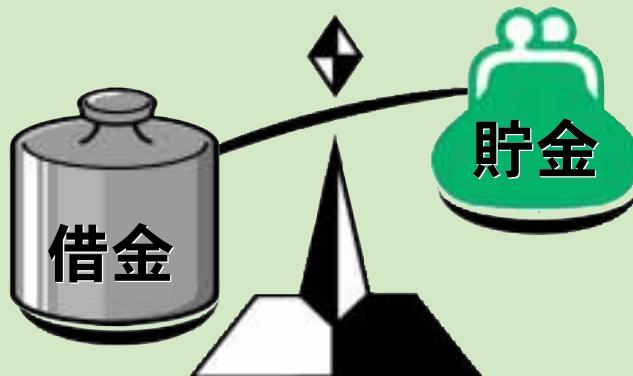
一般会計 決算の状況は



●町債(借金)と基金(貯金)の状況

平成27年3月末人口：1万8,401人
(万円未満切り捨て)

**町債
(借金)**
259億8,625万円
町民 1人あたり
141万円



**基金
(貯金)**
92億9,689万円
町民 1人あたり
50万円

注目 平成26年度 こんなことに使われました!

※ () の財源欄は、**国**(国庫支出金)、**県**(県支出金)、**地**(地方債)、**一**(一般財源)を表す。



▲役場庁舎の整備
第1庁舎西館の建設と本館等改修
9億2,634万円
(**地**8億4,310万円、**一**8,324万円)



▲上月保育園を新築
幕山・上月・久崎保育園を統合し、上月保育園を新築
2億9,968万円 (**地**2億7,290万円、**一**2,678万円)

▲獣友会に駆除活動補助金
鹿1,768頭
猪263頭
を駆除
2,917万円 (**県**1,624万円、**一**1,293万円)



▲平福瓜生原邸整備
地域活性化の拠点施設として整備
4,644万円 (**国**1,750万円、**地**2,350万円、**一**544万円)



▲森林組合に高性能林業機械購入補助
フォワーダ、グラップル付バックホウ
617万円 (**一**)



▲小学校統合関連事業
制服補助、マイクロバス購入費など
3,058万円 (**国**674万円、**地**800万円、**一**1,584万円)

私は反対です

決算認定

討論

一般会計

反対

基金を活用すべきだ

平岡きぬゑ

賛成

的確な財政運営だ

石堂 基

国・民・健・康・保・險

反対

一般会計から繰り入れを

平岡きぬゑ

賛成

前年度より多い繰り入れで会計を維持している

加古原瑞樹

後期高齢者医療

反対

制度自体が問題だ

平岡きぬゑ

賛成

高齢者の重要な保険制度だ

加古原瑞樹

財政調整基金残額は約28億円、基金の総額は約93億円で、一人あたりの基金残高は約50万円になる。これは県下29市12町でダントツ1位だった年度を上回るものだ。

基金を有効に活用すれば町民の負担軽減、暮らし応援、子育て支援ができた。

また、いわゆるマイナンバー制度は、徴税強化や社会保障給付の削減の手段にされかねないもので今導入する必要がない。

財政調整基金残額は約28億円、基金の総額は約93億円で、一人あたりの基金残高は約50万円になる。これは県下29市12町でダントツ1位だった年度を上回るものだ。

基金を有効に活用すれば町民の負担軽減、暮らし応援、子育て支援ができた。

財政調整基金残額は約28億円、基金の総額は約93億円で、一人あたりの基金残高は約50万円になる。これは県下29市12町でダントツ1位だった年度を上回るものだ。

平成26年度決算においては、庁舎整備や新上月保育園建設などの重要課題が着実に実行され、さらには国保会計や介護保険会計、下水道会計などに総額20億円超の繰り出しを行い、住民負担の軽減に大きな効果を上げている。

国保は社会保障制度であり、保険税軽減のため一般会計からの繰り入れ額を増額し、負担を軽減することや、一部負担金の減免制度の積極的な周知と運用を図るべきだった。

また、国保の資格証明や短期保険証の発行は、中止すべきだ。

このため一般会計からの繰り入れを前年度より4千400万円多く行い、加入者の負担軽減を図りながら292万円の黒字決算を結んでいるので十分認定に値する。

制度自体に問題がある。平成26年度は保険料が引き上げられ、年金削減のもと高齢者にとって死活問題だ。少なくとも直ちに老人保健事業医療制度に戻すよう国に求めるべきだ。

保険税を平成24年度10%、26年度は6%引き上げている。高すぎると国保税は加入者の生活を大きく圧迫し、税の滞納が年々増加している。

平成26年度国保会計は、総額約22億7千万円で、大半を占める保険給付費は約16億円と平成25年度より約2千900万円増加している。

このため一般会計からの繰り入れを前年度より4千400万円多く行い、加入者の負担軽減を図りながら292万円の黒字決算を結んでいるので十分認定に値する。

この特別会計は75歳以上の後期高齢者と前期高齢者で障がいのある方を対象とする医療保険制度で、本町においても高齢化が進む中、医療費削減を目的につくられた制度だ。

後期高齢者医療制度は、75才以上の高齢者を別枠の医療保険に囲い込み、診療報酬も別立てにしてることで安上がりの医療を押しつけ、医療費削減を目的につくられた制度だ。

歳出のほとんどが県合への納付金で、高齢者医療の確保に必要な財源である。

討論

決算認定

私は賛成です

平成26年度は第5期事業計画の最終年で、保険料月額標準額5100円は全国平均を上回るもので、重い保険料で滞納者が増える結果となつていい。

誰もが安心して介護を受けられるよう、国庫負担の増額を国に強く求めるとともに、実行性がある保険料の減免制度と介護サービス利用料軽減制度の整備を行なうべきだつた。また特別養護老人ホームなどの整備は切実であり、実現を求めれる。

介護保険制度は15年が経過し定着している。平成26年度の決算は3億3427万4千円の繰り入れにより、185万9千円の黒字となつた。

●9月定例会 決算認定採決状況一覧

○賛成

×反対

※議長(西岡正)は賛否同数以外採決に加わりません

議員名	金谷英志	岡本義次	岡本基	竹内日出夫	石堂基	岡本幹雄	山本安夫	矢内作夫	石黒永剛	平岡きぬゑ	西岡正	採決結果
会計名												
一般会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
国民健康保険特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
後期高齢者医療特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
介護保険特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
メガソーラー事業収入特別会計、朝霧園特別会計、簡易水道事業特別会計、特定環境保全公共下水道事業特別会計、生活排水処理事業特別会計、西はりま天文台公園特別会計、笠ヶ丘荘特別会計、歯科保健特別会計、宅地造成事業特別会計、石井財産区特別会計、農業共済事業特別会計、水道事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

- ①効果的な事業執行を過去10年間の事業成果を再検証し、継続・再編する事業、打ち切る事業、住民ニーズに対応した新たな事業、人口減少問題に対応した特色ある新たな事業など、創意と工夫を凝らし、効率的・効果的な事業執行に努められたい。
- ②債権管理の徹底を軽自動車税で納期を過ぎるケースが増えており、納税意識の低下が懸念される。国保税は収入未済額及び滞納者数ともに増加している。住宅使用料の滞納も年々増加している。滞納は翌月に持ち越さないことが重要であり、より一層の債権回収に努められたい。
- ③公共施設の適正管理を重複施設の整理や上下水道等インフラの適正管理が、健全財政を堅持する上で大きな課題である。全ての公共施設を再点検し更新・統廃合・長寿命化などの方針を樹立の上、財政負担の軽減・平準化に努められたい。
- ④魅力あるまちづくりを佐用町は「ひまわり」「天文台」「宿場町平福」など交流人口を助長する素材がいくつもある。姫新線に蒸気機関車(SL)を走らせる大きな夢も描かれている。

決算監査報告
(要旨)



代表監査委員 横本忠美

魅力あるまちづくりにむけて

反対

5100円は全国平均を上回る

平岡きぬゑ

賛成

繰入により黒字決算だ

岡本安夫

介護保険

マイナンバー法

9月定例会

議案審議

町民の利便性と行政の効率化をめざす

個人情報の漏えい・悪用防止と情報利用を制限！



議決案件

反對討論

正 ■ 農業共済条例の一部改

議員発議 否決

■個人情報の保護に関する条例の一部改正

番号法（マイナンバー制度）による、特定個人情報の適正な取り扱いの確保等を実施するための改正です。

番号カード紛失防止 手数料条例の一部改正

急ぐ必要はない、延期しても町民には何の不利益もない。実施中止の決断をすることがこそ必要だ。

制度が実施された後、カード再交付のための条例改定であり反対。

国のマイナンバー制度は、一十先進国と言わられる政府機関や大企業でも情報漏えいを防げていなさい。制度の内容が周知されていない。また、情報保護に不安を感じる人が

■石井財産区管理条例の制定

■久崎財産区議会設置条例の制定
暫定施行を廃止しました。

三河地区において、安
栗市バス運送事業と整合
を図る改正を行いました。

工事請負契約の締結
町道大願寺本位田線
(塩川橋) 橋梁上部工工事
・契約額 1億357万円

■工事請負契約の締結

贊成討論

平岡きぬゑ 議員
国会審議の中で、憲法
学者3氏と、また、元法
制局長官2氏が「違憲」
「逸脱」と批判。また、
元最高裁長官の山口繁氏

と言つてゐるだけで、諸国は日本と戦争をしないと一言も言わない、憲法の条を制定する動きも見せない。著しく不公平憲法である。そんな中でどう安全を守るかの話。

損害認定基準が緩和されました。

二 平和安全法制度整備法案 国際平和支援法案の廃案 を求める意見書（案）

■平和安全法制整備法案、国際平和支援法案の廃案を求める意見書（案）

賛成討論

金谷英志 議員

この法案が通れば、根本的に事態は変わりアメリカの無法な戦争に、自衛隊が武力をもつて参戦することになる。

日本がどこからも攻撃されていないので、集団的自衛権を発動して、米国とともに海外で武力行使する憲法の条を踏みにじるものであり、廃案を求める意見書を採択すべきだ。

6

9月定例会

補正予算

統合に向け 南光地区保育園土地購入費など

3億1,632万円を計上



▲樹勢保存事業で元気に！「三日月の大ムク」

補正予算

平成27年度の各会計補正予算は、4月の職員異動に伴う人件費のほか、南光地区の保育園を統合し新園を建設するための土地購入費や、マイナンバー制度導入に伴う電算費用、定住促進住宅の改修費、利神城跡を航空レーザー計測するための委託料、県指定天然記念物「三日月の大ムク」樹勢保存事業費など、一般会計では総額1億9265万円が増額補正されました。

また、簡易水道特別会計では、本位田浄水場前処理施設工事において、ろ過装置から凝集沈殿池設備への変更に伴い、約8千万円を増額しました。

平成27年度補正予算額（歳出）		
会計名	補正額	補正後の額
一般会計	192,654	13,460,767
特別会計	国民健康保険	2,737
	介護保険	33,953
	簡易水道事業	80,144
	特定環境保全公共下水道事業	5,625
	西はりま天文台公園	1,189
	歯科保健	20
合計	316,322	20,270,749

9月定例会 賛否が分れた議案

議案名	採決結果
手数料条例の一部改正	賛成多数 (反対議員) 金谷英志 平岡きぬゑ 可決
平和安全法制整備法案、国際平和支援法案の廃案を求める意見書（案）	賛成少数 (賛成議員) 金谷英志 平岡きぬゑ 否決

平成27年度一般会計補正予算額（歳出）

（単位：千円）

予算費目(款)	補正額	主たる要因
一般会計	192,654	
内訳	議会費	27
	総務費	41,827
	民生費	75,569
	衛生費	△42,967
	農林水産業費	△5,079
	商工費	616
	土木費	79,505
	消防費	869
	教育費	29,187
災害復旧費	13,100	・台風11号災害復旧費の増

発議

■議会会議規則一部改正
議会議員の欠席届の理由に、出産を加えました。

同意

■公平委員会委員の選任を同意しました。

溝端雅孝氏（西徳久）
■勝山剛教育長の退任に伴う教育長の任命について同意しました。

平田秀三氏（佐用）

諮詢

■人権擁護委員の推薦は、適任としました。

野村正明氏（末廣）

■平成26年度決算の健全化判断比率及び資金不足比率の報告

収入に対する負債返済の割合を示す実質公債費比率は9・7%（昨年11・8%）、財政を圧迫する可能性の度合いを示す将来負担比率は13・1%

（昨年34・9%）といずれも改善し健全財政を維持しているとの報告。

■第三者委員による平成26年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等の報告

21の柱はすべてB評価（ほぼ目標どおり）。

59の具体的施策は、事業がA（目標を上回った）またはB評価で、2事業がC評価（目標をやや下回った）との報告。

専決処分の報告

町公用車の交通事故による損害賠償額を定め和解しました。

・損害賠償額 28万11
80円

南光歯科保健センターの診療中における事故について、治療費など損害賠償額を定め和解しました。

・損害賠償額 1万90
72円

総務常任委員会

委員長 小林裕和

■平和安全法制整備法案、国際平和支援法案の廃案を求める意見書（案）

議員発議の本案件は、

6月議会で委員会に付託され継続審査となつたもので、審査では次のような意見がありました。

・全国各地でこの「戦争法案」に反対、慎重審議の声がある。この法案をもって抑止力になるという根拠も薄く必要性もない。

・現在の日本を取り巻く

状況を考えれば、この法

整備は必要であり、領海侵犯等では既成事実を抑止し、日本が戦争に巻き込まれないようにするこ

とが必要だ。

・日本を取り巻く国際情勢に責任を持つて対応す

ることは、国防・外交を担っている政府を信頼し

委ねるべきだ。

・国際社会の一員として責任を果たし国民の生命と財産、平和な暮らしを守ることは政府の最も重

要な責務である。法整備により、我が国の安全を確保することは重要である。

■石井財産区管理条例の制定

合併後暫定条例として運用していたものを本町条例に必要な文言修正を行い、委員の任期を地方自治法に基づき定めたもの。

結果・賛成少数 否決

■久崎財産区議会設置条例の制定

結果・全員賛成 可決

■個人情報の保護に関する条例の一部改正

審査における意見は次のとおりです。

・番号法の施行に伴い、国民の利便性と効率化を図り、特定個人情報の取り扱いについて適正かつ安全を確保するものである。

・権限を有する職員の研修、管理、病歴等個人情報の適正運用、適正管理のチェック体制、実施機関以外への委託による安

全確保など厳格な情報管理が必要だ。

結果・全員賛成 可決

産業厚生

委員長 石堂 基

■石井財産区管理条例の制定

合併後暫定条例として運用していたものを本町条例に必要な文言修正を行い、委員の任期を地方自治法に基づき定めたもの。

結果・全員賛成 可決

■久崎財産区議会設置条例の制定

結果・全員賛成 可決

佐用町のここが聞きたい!!

8人の議員が斬りこむ



9月定例会の一般質問は、9月16・17日の2日間にわたって、私たちの身近な課題やまちの将来展望など13件の質問を行いました。

※記事と写真は、質問した議員本人の原稿に基づいています。掲載順は毎回くじ引きで決めています。

質問者	頁	通告内容
千種和英	12	1 本町における、ひきこもり対策について 2 定住促進対策について 3 佐用町南光ひまわり祭りの成果について
石堂基	13	1 森林資源活用化に向けた今後の取り組みについて
岡本義次	14	1 佐用町の今なすべきことは 2 スクールバスの停留所設置
竹内日出夫	15	1 「道路交通法改正に伴う自転車マナー等の向上」と「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」の周知徹底方策について問う 2 防犯カメラの増設について要望する
金谷英志	16	1 合併10年の検証を求める
山本幹雄	17	1 崖の崩落はどうするか 2 地域おこし協力隊について
平岡きぬゑ	18	1 「新交付金」を住民生活の支援と地域活性化に生かす取り組みを
廣利一志	19	1 移住促進のために空き家、古民家の利活用を

本町における、ひきこもり対策は



▲町の将来を話し合う若者たち

町長 本町での現状認識は。 町内で、20数名を把握している。家族や、民生児童委員からの相談による。しかし、正確な人数は把握しきれず、それ以上だと想像している。

問 担当部署と取り組みは。

町長 教育委員会、商工観光課との連携、健康福祉課では心のケア相談を実施し姫路若者サポートステーションへの相談につなげている。子育て支援センターが必要があれば情報の共有を行つてい

問 生活保護の実態は。 登録で受給者は43名。

健康福祉課長 60数名の

問 姫路若者サポートス テーションの担当者は町内在住の青年である。こんな人材が地元で活躍できる環境整備をお願いしたい。

町長——各部署が情報共有して対応している

定住促進対策は

問 本年度入込客数は。 開催期間全体で、12万441人と昨年より約9千人増加し、合併以降最高であった。

町長 根柢として住まい、教育・子育て・外出・就労支援を行い、町内在住者へのサービスの充実で住みやすさをアピールしている。

問 成果と課題認識は。 町のPR効果は大

町長 地域おこし協力隊募集の応募結果は。 町長 3回募集した。8月末締め切りで応募はな

問 課題認識と対策は。 町長 町HP以外での情報発信を行うとともに、募集条件の見直し、任期

終了後の定住サポートを明確に示す必要を感じている。

問 南光ひまわり祭りの成果は。

きい。ジビエ・ひまわり地鶏料理提供店への回遊がみられた。課題は道路渋滞で近隣に迷惑をかけたが、情報発信等の対策を行つた。



▲賑わいを継続するために課題解決を

ちくさ かずひで
千種 和英 議員

林業組織育成にむけて！

町長一 「木の駅」事業のスタートから始める



いしどう もとい **石堂 基 議員**

問 町における林業振興をさらに広げて産業化を図るために、組合以外の企業や個人の林業組織体の育成を考える必要が

あると思う。そのために、企業の業態転換や個人の起業に際して、これまでにない支援策の検討が必要ではないか。

業の産業化を図り新しい雇用をつくりだすためにも、林業組織の育成については積極的な支援策を検討したい。

サ等の導入を検討している。組合単独では負担が大きいので、公的な補助金や町からの助成を含めて来年度実施を検討す

▲上
加を進むな
ければ、本
町の森林整
備は考えら
れない。さ

組織である「森林組合」に対しても、林業振興の観点から支援が進められているが、今後も引き続
き必要ではないか。

A black and white photograph capturing a scene of industrial demolition or construction. In the foreground, a massive pile of twisted metal and rubble lies on the ground. Several construction workers are scattered around the site; one is standing near the debris, while others are further back. Above the scene, a large construction crane with its arm extended hangs over the area, its hook and cables partially visible against a dark sky. The background shows the skeletal framework of a building under construction, with numerous vertical steel columns supporting the structure.

▲プロセッサーによる造材作業

会として「木の駅」事業の成功事例研修を行った。鳥根県津和野町では、チエントソーコーの取り

「木の駅」の会はぜひ開催開始には少し遅れたが10月中旬に初回の講習会を開催し、その後参加者のスキルに応じた講習会の開催を継続的に計画したい。議会委員

問 「木の駅」事業の広がりから林業家育成会今年予定されていた木の駅さよう」がいよいよスタートしようとしている。この活動への参加者を増やすためにも、林業関係の研修や安全講習会が必要ではないか。林業従事者が少ない現状を考えると、講習会はぜひ開催をしたい。

どうな内容の講習会が
継続的に実施され、参加
者の技術向上に大きな効
果を上げている。これは
「木の駅」の成功にもつ
ながり、新たな林業家が
育成されていった。



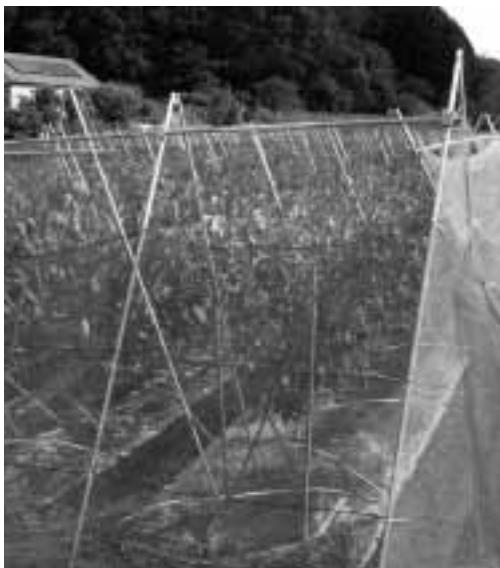
▲島根県での「木の駅」事業

今なすべきことは 若者の定住ではないのか



おかもと よしつぐ
岡本 義次 議員

町長——即効薬はない



▲佐用町の特産物「なす」

佐用町の今なすべきことは

問 毎月の広報を見ると、亡くなる方が30～40人。生まれる子供は5～6人と、ドンドン人口が減少している。

10年前の国勢調査で2万3千人だった人口は、1万8千人をきる状態だ。学校は子供の減少で統廃合し、地域がさらに寂しくなっている。

今、何をしなければならないのか。

町長 佐用町だけでなく日本全体で人口減少が起

きてくる。

町では若者に定住してもらいうよう給食費を半額にしたり、第2子以降の保育料を無料化、中学生以下の医療費の無料化、若者向けに定住促進住宅を改修するなど手を打っているが、定住の即効薬はない。

問 若者を残すため、有限会社を作り、田畠での野菜等の生産部門、それをさらにもち大豆味噌のように第二の特産物をつく



▲スクールバス停留所の設置個所

問 若い優秀な職員が入っているが、日常業務だけではなく、佐用町がどうしたらよくなるのか、テーマや期限をきって、勉強や研究をしているのか。

町長 日常業務、窓口での相談等に励んでいる。若者が街へ出て働くても、土地や家を持つのは至難のわざで、生活におわれている。

町長 佐用町だけでなく日本全体で人口減少が起

問 若者が街へ出て働くにも、土地や家を持つのは至難のわざで、生活におわれている。

町長 日常業務、窓口での相談等に励んでいる。若者が街へ出て働くても、土地や家を持つのは至難のわざで、生活におわれている。

町長 PDCOAを回して改善していくことで、職員と一緒に太陽光発電を考えた。

ある今こそ確保し、旅行会社に行き、バスを行き帰りに寄つてもらう。階段を一步一歩登つていくように取り組んでいき、若者を3人、5人、10人と残れるようにすべりである。近畿大学でマグロや、ウナギに替わるナマズの養殖をしている。職員を勉強に行かせて、奥海のきれいな水でニジマスやキャビア、ナマズ等を養殖し、果物でさらにおいしい特産物づくりなどに取り組ませるべきだ。

販路は、京都に外国人も含めて年7千万人の観光客が来ている。バスの20台も入る土地を基金がある今こそ確保し、旅行会社に行き、バスを行き帰りに寄つてもらう。階段を一步一歩登つていくように取り組んでいき、若者を3人、5人、10人と残れるようにすべきである。

町長 副町長、総務課長、私も含め佐用がよくなるように、もっと勉強しましょう。日常業務もPDCOAを回していけるか。昨日より今日、今日より、明日へと改善していくまじょう。

自転車利用促進に関する県条例の周知方策は

町長一町広報誌、チラシなどで周知を図る



たけうち ひでお
竹内 日出夫 議員



▲中学校での交通安全教室



▲町内の防犯カメラ

問 自転車利用者の事故で高額の賠償を求められたとの報道を耳にする。年間千円から3千円の掛け金で最高1億円補償されるという

と連携を図り

全教室での啓発や、5月と9月の町広報誌に掲載したほか、防災無線、ケーブルテレビ、チラシなどを活用して。また、警察署

町長 兵庫県作成のチラシを役場や支所の窓口に設置したほか、警察署長

問 道路交通法改正に伴う県条例の周知徹底をどのように行っているか。
町長 警察が行う交通安全部門の各機関、5月

自転車保険が、本年10月1日より自転車利用者に對して加入が義務化となつ

を顧問とする作用町交通安全委員会で各委員会に資料提供をした。また各種イベントを利用し周知を図っていく。

また、警察が行う自転車安全教室や参観日においても児童・生徒や保護者に、保険加入が義務化されたことの呼びかけを行っている。

町長 犯罪捜査の必要性についてお尋ねになりますが、事件事故の発生状況を勘案し、駅への動線に置か効果的である。今度は旧久崎小学校前交差点と下三河交差点での位置を計画している。

今後も事件事故の発生地域性などを勘案し、佐用警察署と連携し、に応じて町独自の設置を考えている。

町長 最も高くなつてい
るのは、携帯用テレビモ
ニター等の購入費用が含
まれているためである。問
町民の財産である庁
舎や夜間たぐさん駐車し
ている車両を守るために、
町舎周辺にも設置が必要
であると思うがどうか。

防犯カメラの増設を

設置費用の最高は約40万9千円、最低は14万2千円。まずはこの

合併10年の検証を今後に生かせ



町長――検証し、指針を策定する

問 町合併から今年は10年になる。合併に先立ち、平成17年1月に策定された『新町まちづくり計画』

では、方針の第一に「住民福祉の向上を図ること」も、新町全体の均衡ある発展をめざします」としている。

そして、地方分権社会に対応するために、「合併の手法を用いて企画部門の充実、専門職員の確保と育成、人材の確保、組織体制の再編を図ることある。これはできたの

か。
町長 計画では理想を述べた部分がある。一方では、職員数の削減も入れていた。これだけ充実したということは言えない。

問 『計画』の中には合併した場合、将来のまちづくりにとって重要な施策として1番に「中小企業育成等の雇用確保」、2番目に「新企業誘致や新産業の創出」が挙げられている。これはどうであつたか。

町長 合併に対する不安として一番多かったのが「一部地域が発展し、他周辺部が取り残される」であった。この不安についてどう考えているか。

町長 時代の流れの中で中心部であっても、発展しているという状況ではない。全体として段々と

に関わらずそういう要望はある。合併したらできるということではなかつた。新しい企業を誘致できなかつたことは残念に思っている。

The image shows the front cover of the 'Shinmachi Machizukuri Keikaku' (New Town Machizukuri Plan). The title is prominently displayed at the top in large, bold, black font. Below it, the subtitle 'ひと まち 自然がきらめく 共生の郷 佐用' is written in a smaller font. In the center, there is a circular graphic containing four smaller images showing various scenes of the town. At the bottom, the text '佐用町・上月町・南光町・三日月町合併協議会' is visible.

▲『新町まちづくり計画』表紙

かなたに えいし
金谷 英志 議員

問 合併10年の検証を行い、今後の町総合計画に生かすべきではないか。町長 現行の総合計画での各種施策の達成度の検証を行い、10年先の指針を策定する。

衰退してきている。そんな中どうするか取り組んできた。

崖の崩壊対策は

町長—緊急性は低い



やまもと みきお
山本 幹雄 議員

問 崖の崩壊対策は、緊急性は低いとされていますが、現状で何ができるのかお聞かせください。

答 県管理道路であることが、直接町で何かできるわけがない。県には何回か要望している。平成19年に円光寺トンネルが完成したことにより、国道の道路認定を廃止し、現在は廃道となった箇所であ

る。円光寺自治会と仁位自治会より要望書の提出があつた。その都度、光都土木事務所に上申をし、要望をしてきた。光都土木の見解は、現在のところ治水上に問題を与える

ま放置し、崩れた土砂が河川に流れ、河川を堰き止めようなことがあるのではないかと、心配の種だ。土砂を除去する考

問 閉鎖された国道の崖崩れであること、また、県管理道路であることか

ら直接町で何かできるわけがない。県には何回か要望している。平成19年に円光寺トンネルが完成したことにより、国道の道路認定を廃止し、現在は廃道となった箇所であ

答 旧国道377号、円光寺地内で大きく崖崩れをしている。今、河川改修をしている最中であるにもかかわらず、崖崩れになったまま、改修される様子がない。このまま放置し、崩れた土砂が

問 3月議会で町長は、地域おこし協力隊について伺う。

答 3月議会で町長は、地域おこし協力隊を募集すると答えた。その後どのようになったのかを伺う。

問 今は治水上問題ない

答 4月採用に際し3ヶ月に募集を行つたが応募はないと判断しており、引きつき河川内の堆積状況を監視する。



▲円光寺崩壊現場

問 地域おこし協力隊について伺う。

答 3月議会で町長は、地域おこし協力隊を募集すると答えた。その後どうなったのかを伺う。

問 今は治水上問題ない

答 4月採用に際し3ヶ月に募集を行つたが応募はないと判断しており、引きつき河川内の堆積状況を監視する。

答 3月議会で町長は、地域おこし協力隊を募集すると答えた。その後どうなったのかを伺う。

答 4月採用に際し3ヶ月に募集を行つたが応募はないと判断しており、引きつき河川内の堆積状況を監視する。

「新交付金」生活支援と 地域活性化に生かせる



町長——中山間地施策は効果を検証する



▲兵庫県保険医協会発行パンフ

問 昨年12月政府の地方創生総合戦略は、人口が

急速に減少し自治体が消滅しかねない（増田レポート）として、地方版総合

戦略の策定を今年度内に行うことを探めている。

人口統計だけを軸にした

地方消滅論は、地方が抱える様々な問題を棚上げ

にし、本質から目を背けさせる可能性がある。少子化の最大の原因是、青

年層が結婚して、子どもを生み育てられる労働条件が破壊されたこと。平成の大合併と三位一体改

革によって、周辺部で人口減少が加速したこと。

町の活性化につながる支援が求められる。

町長 委員会を開いてこれまでの施策を検討している。議会に報告し審議する。

問 町内全域で循環コミバス運行と土日運行の検討を。

町長 現在の交通体系に努める。

地域公共交通の充実

子育て支援

問 ①子どもの医療費無料化は所得制限を廃止（県下10市町が実施）し、

高校卒業まで対象を広げる、②U・イターン世帯への補助金制度の創設など人呼び込む施策を取り入れてはどうか。

町長 平成21年度から中学生3年生まで医療費無料化を実施。所得制限対象者は、平成27年度185人中31人・17世帯。公平に適用していくために所得制限廃止と、高卒まで対象者を広げることは



▲かかしが出迎えてくれる宝蔵寺のひまわり畑（7月8日撮影）

産業振興

考えていない。母子家庭の高校生で、県の所得制限で対象からはずれる人に対し町で対応している。定住対策は、全ての町民への拡充で対応する。

問 ひまわり栽培は、農地の有効活用からはじめ多くの理解で継続したい。

町長 ひまわり栽培は、ブランド力や知名度は大きくに生かしてはどうか。大きな力がある。これ以上の集客力はない。最大の課題は、栽培者の高齢化。

農地を集約する中核農家などの理解で継続したい。

18

移住促進のため空き家の利活用を

町長—空き家情報収集を急ぐ



ひろかが かずし
廣利 一志 議員

空き家情報の収集	<p>問 税務課の悉皆調査を空き家情報収集に使う予定は。</p> <p>町長 個人情報保護の観点から難しい。広報などを通して、情報発信をまず優先したい。</p> <p>問 自治会、地域づくり協議会に協力依頼は。</p> <p>町長 役場情報だけでは限界がある。地域のみなさんに協力を依頼するところから始まると思ってる。</p> <p>問 役場内での情報の共有、横断的な組織が必要では。</p> <p>企画防災課長 総務課は情報収集、企画防災課は</p>
移住相談員	<p>問 移住促進のためスタッフ配置を考えているか。</p> <p>町長 空き家情報の収集が前提で、臨時職員の配置が必要と認識している。また、役場外での専門的な組織、団体の力を借りることも必要だと思っている。</p>
移住見学会	<p>問 移住促進のため、空き家見学会の実施の検討を。</p> <p>町長 単独で実施するのは難しい。県民局の主催、委託の見学会の活用を当面考えていく。</p> <p>問 神戸、大阪、首都圏などで移住相談会などを実施してはどうか。</p> <p>町長 会場とか広告、経費などを総合的に考える必要がある。先進地などの成功例を研究していくたい。</p>
商工観光課長	<p>問 情報発信は</p> <p>町長 他市町は積極的に市町のホームページ以外も活用しているが、今後予定しているのか。</p>



▲古民家見学に合わせてブドウ収穫体験



▲阪神間から参加の古民家見学ツアー

も議会』開催

長に現状の町政や、町の将来について一般質問を行いました。



犯罪発生件数も少ない安全な町である。町管理と自治会管理の約3800基の防犯灯があり、他市町と比べても少なくはない。町管理の2000基のうち98%をLED化し、星空に配慮した器具を選定している。災害時対応等も想定し蓄電池仕様も導入している。



上月中学校 3年
高見駿治 議員

問 防犯灯等の増設について、星空に配慮した街灯を増やすことはできますか。

町長 佐用町は、

基本は安全の確保であり、流下能力を1・5倍にする必要がある。近年は環境に配慮した工法が採用され、佐用でも魚巣ブロックや自然石の配置をしている。大河内には親水公園を、平福では住民と検討し石積み護岸を整備するとともに散策コースを整備している。



佐用中学校 3年
孝本慎之介 議員

問

自然環境への配慮について、今まで考えた河川改修ができるのでしょうか。

策を取ってきたが成果が出ていない。今後もバランスの良い政策に取り組みたい。134集落中、19集落が限界集落であり、高齢者への外出支援を行っている。情報（魅力）の発信と同時に、住民の方々の郷土愛を持つことが大切である。



上月中学校 3年
山本亞夕梨 議員

問 若者などの流出、人口減少、少子高齢化について、町の現状をどう考えていますか。

町長 総合的な政

町内には多くの観光資源がある。26年度は64万3千人の入込みがあった。今年のひまわりは12万人にお越しいただいた。会場では案内マップを配布し、町内にお客さんを誘導している。それ以外の資源をPRし、通年来てもらえるように取り組んでいる。



佐用中学校 3年
衣笠昂平 議員

問

観光振興について、有名になつたひまわり烟に合わせて佐用町のPRはできないのでしょうか。

流域55kmを一気に川幅を広げ、河床を掘った。大きな影響があることは理解している。千種川委員会が設置され、環境、文化、漁業等の面から配慮は行つた。環境の復元には時間がかかる。安全性への配慮から工法には限界があることも理解してほしい。



上月中学校 3年
小谷林暖 議員

問 河川改修による水辺の水生生物が激減していると思いますが、いかがでしょうか。

町長 流域55kmを一気に川幅を広げ、河床を

佐用町は2040年人口が、1万の00人になる予想である。定住促進として、企業誘致、住宅整備等に取り組んだ。子育て支援として第2子以降の保育料無料化、給食費補助等の経済的支援。

光ケーブル整備等の環境整備を行い、人口減少においても心豊かな生活を目指している。



佐用中学校 3年
松本莉央 議員

問

住みやすい町づくりについて、若者が定住するまちづくりをどのように考えておられるのか。



合
併
10周年記念

『佐用町子ども

8月27日、町内中学校の代表が、子ども議員として、町
した。議場内、議員席からの質問で緊張しながらも、真

三日月中学校 3年 梶本深月 議員

問 ともに支えあう健康と福祉のまちづくりについて、どんなことをされているのか教えていただきたい。

町長 佐用町子ども子育て支援計画を制定した。ファミリーサポート制度では登録110名で、101件の利用実績がある。子育て支援策として、子どもの体調不良時の対応や預けられる体制を整えてほしいことだが、今後取り組んでいきたい。



遺産、文化遺産、自然がある。長時間滞在の工夫を考えている。和神山は長年の取り組みの成果で、国文化財指定を目指している。城下の御殿屋敷活用の構想をまとめ取り組みたい。農村歌舞伎の保存は、活用とともに20年以上続く取り組みである。地域の協力をお願
いしたい。

上津中学校 3年 大江峻弘 議員

問 観光資源の有効活用をどのように考えておられますか。例えば三河子ども歌舞伎は、多くの歴史

町長 多くの歴史

上津中学校 3年 小南萌香 議員

問 人口減少対策について、大型商業施設の誘致で買物を便利にしたり、雇用の場をつくり、雇用の場をつくってはどうですか。

町長 大型商業施設を望んでいらっしゃるのですが、経済原理において企業進出は難しい。佐用町に住み、交通インフラを活用したバランスの良い生活スタイルを提案したい。学校跡地活用等で雇用の創出、商業者への経済支援、買い物需要者への移動販売への支援を行っていきたい。

三日月中学校 3年 仲元麻美華 議員

問 生きる力と豊かな心をはぐくむ教育と文化の町づくりについて、取り組みを教えていただきたい。

町長 体育協会を組織し、スポーツへの参加を呼びかけ、指導者育成の講習や施設利用料の減免措置を行い、スポーツ推進員を設置している。芸術文化面では、文化協会を組織し、施設使用料の減免措置を行っている。また文化祭で、発表の機会をつくる



上津中学校 3年 小久保亜美 議員

問 高齢者福祉の推進について、施設だけではなく町営バスの運行などどのような取り組みをされていますか。

町長 高齢者は平成32年をピークに減少するが、高齢化率は高くなる。さよざよサービスや2路線のコミュニティバスを運行し、タクシー料金の補助制度等で自立支援に力を入れている。互助（家族での支え合い）だけでは難しいが、不足部分は社会制度で補っていく。





「木の駅」プロジェクト先進地を視察

島根県・津和野町、吉賀町（8月6・7日）

産業厚生常任委員会 委員長 石堂 基



▲津和野町役場で説明を受ける委員

平成22年に島根県で最	出材量は、初年度から
も当初の	目標の1
に増え、	50トン
その中か	を大きく
130人から	上回り、
28人から	平成25年
128人	度は720トンに
に増え、事	増加、事
業参加者	業参加者

津和野町では、従来の事業体による林業だけでなく、地域住民による山に優しい「小さな林業／自伐型林業」への取り組みを進めています。つまり、自分の山は自分で守る体制づくりです。

平成22年に島根県で最初、「木の駅」プロジェクトが検討され、翌年10月から社会実験がスタートしました。事業開始前に、林業に関する全世帯アンケートの実施や伐木造材研修会を行なうなど、住民意識の啓発にも配慮しています。

行政と「木の駅」参加者が定期的に情報交換を行うなど、住民参加型の先進的な成功事例で、今後は、自伐林家の育成をさらに積極的に進めていくことでした。

主な質疑

- ・「木の駅」プロジェクトの運営主体及び町の助成内容について
- ・開始から現在までの出材量の推移について
- ・今後の課題についてなど

「山の宝でもう一杯！」 津和野町

門家を目指す若年層も現れています。
また、事業内で流通している地域通貨券（こだま商品券）の利用も増

加し、その取り扱い店も130店まで増え、ガソリンスタンドや飲食店など小売業を中心に地域経済に大きな影響をおよぼしています。

◀地域住民グループによる林地残材の搬出、木の駅への持ち込み、間伐講習会

◀チエンソーハサウエー自立で講習会・伐木講習会・チエンソーハサウエー使用講習会



委員会の活動



▲名目津和地区を調査する委員会

コミバス運行路線の延長は可能か
委員会で現地調査 (8/11)

総務委員長 小林裕和

5月の議会報告会で要望を受けた、コミバス船越線の名目津和までの延長について、委員会で現地調査を行いました。

現在は利用実績がないが、今後、児童生徒および住民から要望があれば、検討すべきとしました。

組合議会報告

にしばりま環境事務組合

組合議会議員 廣利一志

第28回定例会開催 (8/21)

(8/21)

第28回定例議会がにはりまクリーンセンターで開催され、組合議会副議長に秋田裕三氏（宍粟市議会議員）を選出し、平成26年度一般会計歳入歳出決算が全会一致で認定されました。

播磨高原広域事務組合
組合議会議員 千種和英
定例議会開催 (8/18)



佐用町合併10周年記念式典 (10/4)

佐用町議会

10年のあゆみは

合併時54人の議員でスタートした佐用町議会、その後、議員定数の見直しや議会改革などに取り組んできました。

●議員定数の改定

合併時 54人→22人→20人→18人→14人（現在）

●議員発議の条例制定

- ・佐用町犯罪被害者等支援条例（平成22年3月）
- ・佐用町暴力団排除条例（平成24年3月）
- ・佐用町議会基本条例（平成26年3月）

●主なできごと

- ・佐用チャンネルで一般質問の生中継開始（平成22年6月）
- ・兵庫県・鳥取県・岡山県五市町村県境圏域議員連盟設立（平成27年1月）
- ・第1回議会報告会開催（平成27年2月）
- ・第1回子ども議会開催（平成27年8月）

12月定例会の予定

12月

8(火) 本会議
9(水) 本会議（一般質問）
10(木) 本会議（一般質問）
11(金) 本会議（一般質問）※一般質問の模様は佐用チャンネルで放映します。
15(火) 本会議
17(木) 総務委員会
18(金) 産業厚生委員会
24(木) 本会議

「顔が見える議会」をめざして！

「議会報告会」を開催します

5月に続き、第3回目の議会報告会を13地域づくり協議会単位で開催します。

開かれた議会をめざし、議会の状況を知りたいなどとともに、町民のみなさまの貴重なご意見をお聞かせください。



テーマ

- ①町の決算状況
- ②意見交換会

お近くの会場に是非お越しください！！

11月13日（金）	11月14日（土）	11月19日（木）	11月20日（金）
<ul style="list-style-type: none"> ・久崎地区センター (1班) ・ふれあいの郷みうち「若杉館」 (2班) 	<ul style="list-style-type: none"> ・上月文化会館 (1班) ・長谷地域交流センター (2班) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中安ふれあいセンター (1班) ・佐用地域福祉センター (2班) 	<ul style="list-style-type: none"> ・南光文化センター (1班) ・ゆう・あい・いしい (2班)
11月21日（土）	11月26日（木）	11月27日（金）	
<ul style="list-style-type: none"> ・三河ふれあいセンター (1班) ・さよう文化情報センター (2班) 	<ul style="list-style-type: none"> ・三日月文化センター (1班) ・江川地区文化センター (2班) 	<ul style="list-style-type: none"> ・幕山地区センター (2班) 	
各会場 午後7時から 約1時間30分			

(1班) 加古原瑞樹、小林裕和、廣利一志、岡本義次、山本幹雄、平岡きぬゑ、西岡 正
(2班) 千種和英、竹内日出夫、石堂 基、金谷英志、岡本安夫、矢内作夫、石黒永剛

各会場
午後7時から
約1時間30分

年賀状はご遠慮させていただきます。
私たち議員は、公職選挙法により町民のみな
に時候のあいさつを出すことは禁じられていてま
ご了承くださいますようお願ひします。

姉妹そろつて無邪気な笑顔を見させてくれたのは、上本郷集落の小笠櫻子ちゃん（2歳7ヶ月）と舞子ちゃん（10ヶ月）。四世代が同居する大家族の中で、みんなに愛され育っているお姉ちゃんは、家族の会話を真似して大人顔負けの話し方をする。また、2歳になって、イヤイヤ期になつても妹のめんどうは進んでしてくれる。

姉妹そろって無邪気な笑顔を見させてくれたのは、上本郷集落の小笠櫻子ちゃん（2歳アケ月）と舞子ちゃん（10ヶ月）。四世代が同居する大家族の中で、みんなに愛され育っているお姉ちゃんは、家族の会話を真似して大人顔負けの話し方をする。また、2歳になつて、イヤイヤ期になつても妹のめんどうは進んでくれる。

来年から2人そろって保育園に行くので、今から楽しみにしているようだが、お母さんは一緒にいる時間が少なくなるので少し寂しそう。それでも、将来『人の役に立つて欲しい』と願うお母さんの笑顔は、希望に満ち溢れた幸せそうな笑顔でした。

加古原瑞樹

式のみなさん
ています。

氏のみなさん
ています。

A close-up photograph of a young girl with dark hair, wearing a light-colored top with a colorful graphic, smiling warmly at a baby she is holding. The baby has light-colored hair and is looking towards the camera with a neutral expression. The background is softly blurred.

小笛 櫻子ちゃん 小笛 舞子ちゃん
(2歳7ヶ月) (10ヶ月)

議会だよりでは笑顔いっぱいの 子どもたちを紹介します

合併後初めての「子ども議会」を開催しました。純粹で真剣な11人の子どもたちの意見に刺激を受けた議員も少なくないと思ひます。

国会では「集団的自衛権」等を限定的に認める安保法案が可決されましたが、また、安倍政権の「新3本の矢」が本格的な地方の景気浮揚になくてほしいものです。

町では、県下で初の「木の駅」プロジェクトによる「木材ステーションさよう」が10月から稼動しました。森林整備の推進と新たな雇用が生まれることが期待されます。

編集後記



委員長 岡本 千種 和英
委員長 小林 加古原瑞樹 安夫
委員長 竹内日出夫 裕和
委員長 廣利 一志

議会広報特別委員会